

令和5年4月12日

市政記者各位

福岡市美術館

2023年度の展覧会ラインアップを公開しました

福岡市美術館の2023年度の展覧会ラインアップを公開しましたので、お知らせします。2023年度も充実したラインアップとなっております。

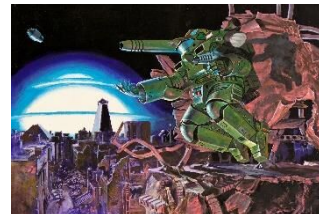
つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

特別展

会場：特別展示室（2階）

日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現— 会期：2023年9月9日（土）～11月12日（日）

アニメ『鉄人28号』放映から今年で60年。日本では脈々と「巨大ロボット」が登場するアニメが制作されてきました。歴代巨大ロボットのデザインと映像表現の特質と、その魅力に迫ります。



加藤直之・宮武一貴
《宇宙の戦士》1977年
©スタジオぬえ

永遠の都ローマ展

会期：2024年1月5日（金）～3月10日（日）

永遠の都ローマが誇るカピトリノ美術館の所蔵品を中心とする約70点の作品を通して、建国から古代の栄光、教皇たちの時代から近代まで、2000年の歴史と芸術を紹介します。



カピトリノの牝狼（複製）
ローマ市庁舎
©Roma, Sovrintendenza Capitolina ai Beni Culturali /Archivio Fotografico dei Musei Capitolini

企画展

会場：古美術企画展示室（1階）、近現代美術室A、B（2階）

朝鮮王朝の絵画—山水・人物・花鳥—

会期：2023年9月13日（水）～10月22日（日）

当館が収集してきた作品に加えて、近年新たに見出された優れた朝鮮時代の絵画をご紹介します。日本や中国とは異なる個性を持った朝鮮時代の絵画の魅力に迫ります。

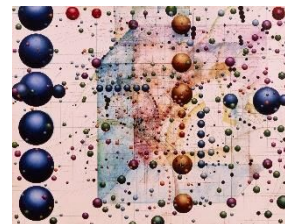


《山水図》朝鮮時代 15世紀
個人蔵

オチ・オサム展

会期：2024年1月24日（水）～3月24日（日）

佐賀県出身の美術家オチ・オサム（1936-2015）は、九州派のメンバーとして活動し、1960年代後半からは渡米を経て、独自の絵画空間を作り出しました。晩年にいたるまでの作品・資料を紹介し、その幅広い活動の軌跡をたどります。



オチ・オサム《球の遊泳Ⅱ》
1979年

コレクション展・教育普及プログラム

美術館ウェブサイトに年間スケジュールを公開しました。下記 URL よりご覧いただけます。

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/assets/pdf/fukuokaartmuseum2023.pdf>

共通	開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 ※入館は閉館の 30 分前まで (7 月～10 月の金・土曜日は午前 9 時 30 分～午後 8 時)
	休館日	毎週月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
	観覧料	〈コレクション展・企画展〉一般 200 円、高大生 150 円、中学生以下無料 〈特別展〉各展示会による

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。

※来館時には、手指の消毒等にご協力ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 (担当：山木、渡抜、宮田、忠)

TEL: 092-714-6051